(福) 大阪府済生会 野江デイ・サービスセンター 運営状況報告書 (2023年3月~2023年8月)

①利用者数	利用定員(18)人		↑護職員数 1 日平·	均従事者数(5.6)人	
②職員研修 状況	開催月日	研修	内容	参加者数	
	3月22日	今年度の反省	(書面開催)	10	
	4月19日	業務の見直し	(書面開催)	10	
	5月24日	危険予知につ	ついて(書面開催)	10	
	6月21日	,	, -	10	
	7月19日	感染症につい	て(書面開催)	10	
	8月23日	非常災害時・緊急時の対	応について(書面開催)	10	
③事故発生 状況	(事故約 (事故内容:転倒、 行方イ ※その他、送迎車ド	詰果:死亡0件・入院0億 転落0件・打撲0件・記 5明0件・ミス0件・尻≒	牛・受診0件・経過額 呉嚥0件・誤薬0件 もち0件・その他2何	観察 2 件) ・暴力行為 0 件 牛)	
④感染症の 発生状況	内訳 (3月 0件 4月) (感染症の種別: 1				
⑤苦情件数 および内容	合計 ( 0 ) 件 内訳 (3月 0件 4月0件 / 5月0件/ 6月0件 / 7月0件 / 8月0件 )				
⑥行事 および 参加者数	月	内容	利用者 職員	地域の方	
	3	ぼたもち作り	84 7	0	
	5	菖蒲湯	60 7	0	
	6	運動会	83 7	0	
	8	特別ティータイム	68 7	0	
⑦地域行事 への参加	月	内容	利用	者職員	
⑧事業所の 課題	課題 ・テイサービス以外の日は目宅で過ごす方が多く、テイサービスに なっている方が多い。身心不調を訴える方も多い。夜間、浅眠のこ や体操を取り入れ、適度な疲労を感じる事で良眠に繋げていく。				
	①②③④発⑤おのの <t< td=""><td>①利用者数 利用定員 (18) 人 開催 月日 3月 22 日 4月 19日 5月 24日 6月 21日 7月 19日 8月 23日 (18) 人 開催 月日 3月 22日 4月 19日 6月 21日 7月 19日 8月 23日 (18) 人 (18) 人 (19) 日 8月 23日 (19) 日 9日 8月 23日 8日 8日</td><td>①利用者数 利用定員 (18) 人 1日平均利用者数 (16.7 ) 人</td><td><ul> <li>①利用者数</li> <li>利用定員(18)人</li> <li>1日平均利用者数(16.7)人</li> <li>が修内容</li> <li>3月22日</li></ul></td></t<>	①利用者数 利用定員 (18) 人 開催 月日 3月 22 日 4月 19日 5月 24日 6月 21日 7月 19日 8月 23日 (18) 人 開催 月日 3月 22日 4月 19日 6月 21日 7月 19日 8月 23日 (18) 人 (18) 人 (19) 日 8月 23日 (19) 日 9日 8月 23日 8日	①利用者数 利用定員 (18) 人 1日平均利用者数 (16.7 ) 人	<ul> <li>①利用者数</li> <li>利用定員(18)人</li> <li>1日平均利用者数(16.7)人</li> <li>が修内容</li> <li>3月22日</li></ul>	

作成日:2023.10.18 作成者:大窪まゆ

意見及び要望(①~⑧に対する意見)	⑨利用者 家族の意見	コロナ感染症が 5 類になったがまだまだ安心は出来ない。事故発生、感染状況、 苦情等何事もなくあるのは職員の方々のお陰で楽しく安心して通所できる事に感 謝しかない。利用者さんも明るく過ごせている。
	⑩地域の方 の意見	昨年遊歩道ウォークラリー、プロジェクションマッピングを開催。今年は 4 年ぶりに地域行事「躍動夏祭り」を開催する事ができた。3 年間地域行事を中止している事を踏まえ、今年の夏祭りは運営よりも事故の想定を重視し開催となった。今年の夏祭りは無事故で終える事ができた。地域行事開催にあたり、空白の時間が長ければ思わぬ事故発生の可能性もある。10/29(日)運動会も町会の方々と情報共有を行い、プログラム内容を只今、修正中である。
	⑪地域包括 支援センター の意見	コロナ禍で閉じこもりが増えている。数年、介護保険新規申請も増加している。 フレイルが進んでいる数年であった。地域協力の元、できる限り身体を使う教室 も開いているが介護保険サービスを利用すると、地域教室を参加されない方が多 い。地域教室と介護保険サービスを併用できればと考える。デイサービスという 場所が昔のままのイメージでまだ残っている。まずは、現状のデイサービスの情 報をきちんと説明していこうと思う。
	⑫知見を 有する方 の意見	当施設もデイサービスを併設しており、今年度より徐々にではあるが行事を開催してきている。久しぶりの行事開催は利用者様にとっては喜びになっている。しかし、利用者様の気持ちの高ぶりをどうコントロールしていくかは現場職員の力ではないだろうか。 感染症及び苦情件数 0 件という結果は、職員が意識を持って業務に取り組んでいる結果であり、感心している。引き続き、感染予防対策を徹底しイベントを盛り上げて頂ければと思う。

改善点(⑨~⑫を受けて)	⑬事業所とし ての改善点	・各自職員が、危険予知を察知してくことでアクシデント発生件数 0 件を目指す。 ・コロナ禍 4 年となり、自宅で過ごす事に慣れてしまい、外出頻度は増えていないのが現状である。下肢筋力低下傾向の方もおられる。デイサービス利用中は全身運動、脳トレーニング等取り入れ、筋力低下予防に努めていく。 ・第 5 類に移行となったが、今後も感染症に対応していかなければいけない。高齢者は重症化リスクもあり、生命の危険性もある。日頃、徹底した感染予防対策を行う事で利用者自身を守る事にも繋がる。感染予防対策委員会を筆頭に標準予防策や嘔吐物処理の手技を定期研修会に取り入れていく。
次回予定	□運営推進会議 書面報告から 有の場合内容	会議で検討する事項 (無)
	■運営状況報告	書で報告 ( 2024年3月 )